

令和8年9月10日

石巻市議会議長 奥 山 浩 幸 殿

会 派 名 無 会 派
代表者名 佐 藤 雄 一

研究研修会等参加報告書

研究研修会参加の結果について、次のとおり報告します。

記

- 1 研究研修会名 地方議員研究会セミナー

【決算質疑特別研修③生成A Iを活用した決算審議について（基本編）】

講師： 木 村 亮 太 氏

- 2 期 間 令和8年8月30日（日）午前10時00分～午後12時30分

- 3 場 所 リファレンス西新宿大京ビル・205会議室
（東京都新宿区西新宿7丁目21-3）

- 4 参加者氏名 佐 藤 雄 一

- 5 参 加 目 的 地方議員研究会は、地方議会議員の議員力を高めることで、議会を活性化し、地方議会、地方議員の革新と地方自治の発展を図り、我が国の発展と豊かな社会の実現に寄与することを目的としている。多彩な講師を招き、現場で役に立つ知識や最新事例、行政課題を先取りしたテーマについて全国各地でセミナーを開催している。今回は、決算質疑特別研修ということで、生成A Iを活用した決算審議について学び、本市の議会の質の向上を図りたいことから、本研修を受講した。

- 6 研究研修会の概要

8月30日、西新宿にて、木村亮太氏によるセミナーが開催され、『生成A Iの基本について』『議会活動における生成A Iの使い方』『議会質疑における生成A Iの使い方』『A Iを活用し、予算審議に必要な情報を取得する方法』といった内容で進められた。

『生成A I の基本について』

生成A I とは何か。ChatGPT 等の生成A I では、ユーザー側での調整や学習なしで自然な言語で指示を出すだけで、自然な回答が出力される。

生成A I を活用してできることは、文章を作成、要約。調査。動画、画像、音声を生成。アイデア出し。壁打ち（相談）。

様々な車や飲食店があるように、生成A I を開発している会社も複数あり、サービス・商品も複数ある。例えば、OpenAI 社では ChatGPT、Google 社では Gemini、Gemini Notebook、マイクロソフト社では Copilot（コパイロット）、OpenAI 社の社員が立ち上げた Anthropic（アンソロピック）社では Claude（クロード）等。

ChatGPT の登録の仕方。ChatGPT の有料版と無料版の違いについて、無料版でも一定の機能は使えるとして紹介があった。ChatGPT の基本的な操作方法の説明。的確な回答が返ってくる、使いこなすためのポイントについて説明があった。

『議会活動における生成A I の使い方』

ブログ、広報での活用方法では、文章を作成、要約、画像生成に活用できる。議会質問の報告、要約、趣旨の説明。市の新しい取り組みの紹介。ブログネタのアイデア出しが可能。議会発言の内容を要約して、ブログ等で発信する。要約をベースに内容を加筆修正し、アップする。ブログのアイデア出し「ブログを書くので、この時期に適した地方自治体に関するニュースを基にしたブログ記事案を 5 つ以上出してください」などと指示をする方法や「教育や子育てに関するテーマを教えてください」などと指示をする。また、今後自分が議会で質問するかもしれないテーマについて、メモをしておくという使い方もある。

画像生成について、ChatGPT の画像生成がかなり能力アップしている。「市政報告バナーを作って。縦横 1 : 1、石巻市議会議員、佐藤雄一、以下の項目を入れて、・A I の活用について、・人口減少対策について、・物価高対策について」という指示だけでいい感じのものが生成される。画像生成のポイントについて、画像生成キーワード集の紹介もあった。

以前は、Google 社の Gemini のほうが的確な画像生成ができたが、令和 8 年 8 月時点では、再び OpenAI 社の ChatGPT が優位。短期間にどちらともさらにレベルアップする可能性がある。Gemini はテキスト付きの画像生成に強く、過去、ChatGPT で生成できない時期には多くのユーザーが活用していたとのこと。

画像生成（インフォグラフィック）のプロンプトを入れただけの状態から、調整するためのアプローチの説明、さらに Gemini から Canvas に切り替えてスライドを作る方法、Google スライドにエクスポートして Google スライド上や PPT 形式でダウンロードして編集する方法なども紹介された。

『議会質疑における生成A I の使い方』

リサーチ、分析、壁打ち、質問案。調査、要約、文章作成が可能であるので、新しい制度の調査や要約、議会質問のたたき台や市民対応のメールを元に文章作成することができる。

質問作成のフローは、基礎資料の要約（過去の議事録、行政の計画、審議会の答申）、先進事例の調査（他市事例）、論点の抽出（このテーマで質問する場合はどんな視点があるか）、仮の質問を作る（質問案や答弁案）、深掘りする・壁打ちする。

『A I を活用し、予算審議に必要な情報を取得する方法』

Google 社の Gemini Notebook を使う。OpenAI 社の ChatGPT とほとんど同じだが、ChatGPT はインターネット上の広範な情報を集めてくるので、ハルシネーション（嘘の情報）が発生する可能性がある。Gemini Notebook は、ソースとしてアップロードされた資料を活用することに特化しており、信頼性が高い。Gemini Notebook が生成する回答には必ず根拠となった資料の当該箇所が引用として表示され、これによって情報の出どころが明確であり、簡単にファクトチェックが行える。複雑な計画の分析や解説におすすめ。

Gemini Notebook の無料版、有料版の違いの説明。現時点では無料版で問題なく使用できる。使用方法について説明があった。例えば、国が公開している文字ばかりで数十ページに及ぶような資料も、1 枚のインフォグラフィック（画像）にすることもできると説明があった。例えば、令和 8 年 9 月 3 日に行われた石巻市議会全員協議会で配布された資料『第 2 次石巻市総合計画施策評価結果（令和 7 年度実績）』の概要版 24 ページ、本編 97 ページの資料をもとに、1 枚のインフォグラフィック（画像）を生成したので以下に添付する。

